科目名	コンピュータ基礎	英語科目名	Computer Literacy
開講年度・学期	平成 22 年度・前期	対象学科・専攻・学年	電子制御工学科 1 年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	1 単位	単位種類	履修単位 30 h
担当教員	平田克己	居室（もしくは所属）	電子制御工学科棟 4 階
電話	0285-20-2254	E-mail	hirata@oyama-ct.ac.jp

授業の達成目標

1. 情報の活用と発信の基本について理解する
2. 情報の処理と技術の基本について理解する。
3. 情報と社会生活との関わりについて理解する。

各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法

いずれの達成目標に対しても，定期試験の成績と授業中や宿題として不定期に課す課題の成績で評価する

評価方法

2 回の定期試験の平均点と課題の点数を 8：2 の割合で加重平均して得た点数で評価する。

授業内容

第 1 回	ガイダンス，情報の概念・性質
第 2 回	情報の伝達手段，アナログとディジタル，情報量
第 3 回	情報のディジタル化，情報機器の構成と種類
第 4 回	情報の収集と整理，情報の発信・交換
第 5 回	教育用計算機の利用
第 6 回	電子メールの利用
第 7 回	コンピュータのしくみ（ハードウェアとソフトウェア，オペレーティングシステム）
第 8 回	中間試験
第 9 回	中間試験の返却と解説，ポケットコンピュータの利用
第10 回	論理回路・真理値表・論理式
第11 回	2 進数・10 進数・16 進数・半加算器
第12 回	情報のディジタル表現（整数・実数）
第13 回	情報のディジタル表現（文字）
第14 回	情報通信ネットワーク
第15 回	期末試験の返却と解説

キーワード	情報，コンピュータ，IT／ICT，電子メール，セキュリティ
教科書	岡田正ほか「ネットワーク社会における情報の活用と技術　改訂版」，実教出版（2006）
参考書	
小山高専の教育方針①～⑥との対応	⑤

技術者教育プログラムの学習・教育目標

JABEE 基準 1 の（1）との関係	

カリキュラム中の位置づけ

前年度までの関連科目	なし
現学年の関連科目	電子制御工学実験
次年度以降の関連科目	プログラム I～IV，論理回路，ソフトウェア工学 I～III　など

連絡事項

毎回授業のはじめに前回の内容についての小テストを実施する。宿題がない週も必ず復習をするように心がけること。また，近年の情報関係技術は非常に目まぐるしく進歩している。この発展に乗り遅れないためにも，日頃から新聞や雑誌，WWW などで新しい情報を入手するよう心がけること。また，コンピュータは積極的に使って，早く慣れるよう努めること。計算機演習室（情報科学教育研究センター棟および電子制御工学科棟 4 階）は，平日 8 時半から 17 時までで授業で使われていない時間帯であれば自由に使うことができるので，積極的に利用すること。

シラバス作成年月日	平成 22 年 3 月 1 日